

平成23年度第1回佐久市民環境議会 議事録

日 時:平成23年11月21日

10:15～11:30

場 所:本庁 8階 大会議室

1. 開 会
2. 委嘱書交付
3. 市長あいさつ
4. 自己紹介
5. 正副委員長選出

会長に楢本委員、副会長に竹内委員を互選

6. 議事
 - (1) 佐久市民環境会議の概要について (資料1)
 - (2) 市内の放射性物質の状況について(資料2)
 - (3) 緑の環境調査について (資料3)

以上一括して事務局より資料説明

【 質疑、意見 】(各要約)

(委 員) 放射線等に関して、こういう会議の場や専門部会を置くなどの対応や、民間や市民の力をお借りして、対応してしてはどうか。また、緑の環境調査についても、とても大切な事業だと思うので、市担当課だけではなく、専門に民間でできることがあれば回すなどすれば、より良い活動になるのではないか。

(委員長) 意見として、事務局で承知してください。

(委員長) 原発事故に関し、放射線量の測定について、一般市民の皆さんから、是非ここを測定してほしいという意見が出た場合どう対応するか。

(事務局) 現在、まず市全体の状況を把握するため、市内に均等配置がある保育園、小中学校の約半数の土壌調査を終了し、高い数値は出ておりません。また、国のモニタリングを受けての空間放射線量測定や、除染を実施してきました。現在、携帯式の空間放射線量測定器を発注していますが、1台購入予定で、運用とどれほどの活用ができるかは未知数ですが、フル稼働させながら対応していきたい。測定要望につきましては、すべてに対応できる体制ではありませんので、市全体を把握できるような形で対応していきたいと考えています。

(委員) 最近有線等で落ち葉のたき火は自粛との情報があったが、どの部署で取り扱っているのか。

(事務局) 落ち葉によるたき火の自粛の周知は生活環境課で行いました。特に佐久市内からの検出というわけではありませんが、県が大事を取って全県に向けて、市町村を通じた周知依頼があり対応したところです。

(4)その他として

- (事務局) ① 住宅用太陽光発電の補助金について、今年度は、既に昨年度を超える申請があり、3. 11の大震災、原発事故や国のエネルギー施策が見直されている中、市民の皆様の関心が高まっている。
- ② 報道でもあるメガワットについて、長野県で設置しているメガソーラーマッチング窓口で、佐久市の候補地が紹介されている。
- ③ 新ごみ焼却施設について、平成29年度稼働を目指して、佐久圏域の小諸市を除く10市町村で、建設に向けて、環境影響評価等具体的に動き出している。

それぞれに関し、今後も委員の皆様のご意見等頂戴していきたい。

(事務局) 冬の節電について、中部電力の現供給予備率7%に対して、適正予備率10%にむけて、この冬も市民、事業者の皆様に節電のご協力をお願いしていきたいと考えている。委員さんにも、ご自宅やご活躍の場で節電協力と啓発をお願いしたい。

7 閉会